



▲市民まつりを明るい演奏で彩る



▲ジョイントコンサートではトップバッターを務める



▲部員は19人。少なさを感じさせない演奏を披露

市民まつりなどで演奏を披露している塩竈市立第一中学校吹奏楽部。市内中学校吹奏楽部が集まる春のジョイントコンサートでは、トップバッターを務めるなど、明るい演奏でイベントを盛り上げています。

その第一中学校吹奏楽部が、全日本吹奏楽コンクール東北大会に初出場して金賞を勝ち取り、10月13日(土)に仙台銀行ホールイズミティ21(仙台市)で行われた「東日本学校吹奏楽大会」に出場しました。この大会は、30人以内で構成される小編成の部では最高峰の大会で、市内中学校からの出場は初めてです。

顧問の佐藤裕一先生は「コンクールで演奏した『秘儀Ⅱ』7声部の管楽オーケストラと4人の打楽器奏者のための」

という曲は、人気で難しい曲でもあったが、一人ひとりの良さが生かせる曲だった」と選曲の重要性を話します。さらに「東北大会は常連の学校が多い中、自分たちの力を出し切れたと思います」と続けました。

部員の皆さんからは、「地域のイベントでの演奏も続けて、たくさんの方に演奏を聴いてほしいと思います。特に一中らしい明るい演奏に注目してほしいです」と、これからの活動への意気込みが述べられました。

皆さんも市内イベントで第一中学校吹奏楽部を見かけたときは、東北を代表した演奏を聴いてみてください。

問 塩竈市立第一中学校 ☎ 362-11321

市内イベントを明るく彩る一中吹奏楽部

—金賞を勝ち取り、東日本大会初出場—

シリーズ 塩竈の魅力再発見⑦

東京では感じられない体験ができるまち

「東京ではなかなか感じられない体験をできることが魅力です」と話してくれたのは、青山学院大学ボランティアセンターRoote(ルート)の北原佳惟斗さん。

震災以降、市には毎年Rooteの皆さんがボランティアに来て約2週間滞在しています。そのメンバーの一人である北原さんに、東京に住む大学生が体験した、塩竈の魅力について教えてもらいました。

北原さんは、仲卸市場で買った魚を盛り付けてつくる「マイ海鮮丼」について「実際に市場の人たちと触れあい、交渉しながら買い物をして、楽しく回ることができます。海鮮丼を作るとは、東京ではあまりできない体験です」と話します。

そのほかにも「学生は旅行の写真をSNSに投稿します。マイ海鮮丼の写真を投稿すると、た



くさんの友達から反応がありました。そんな写真映えするところも、私たちにとってはかなり魅力的ですね」と話してくれました。

皆さんも「マイ海鮮丼」で塩竈ならではの体験を試みませんか。

皆さんが発見した塩竈の魅力をメールにて教えてください。



青山学院大学
ボランティアセンターRoote
東北部 塩竈プログラムリーダー
北原佳惟斗さん

問 観光交流課人・まち交流係 ☎ 364-1165
Eメール kankou@city.shiogama.miyagi.jp

